## 実践記録

学校/学年	小学校 / 6年		
教科等:単元名	総合:著作権について調べよう		
キーワード	コピーライト(著作権)		
情報モラル指導 モデルカリキュ ラム表における 目標	分類	情報社会の倫理 法の理解と遵守 安全への知恵 情報セキュリティ 公共的なネットワーク社会の構築	
	大目標項目数字 大目標項目内容	a3:情報に関する自分や他者の権利を尊重する。 c3:情報社会でのルール・マナーを遵守できる。	
	中目標項目番号中目標項目内容	b3-1:情報にも自他の権利があることを知り、遵守する。 c3-1:何がルール・マナーに反する行為かを知り、絶対に行わ ない	
授業会場	パソコン教室	普通教室 特別教室〔 〕 その他〔 〕	
学習の目標	知的財産権・著作権などの基本とともに、生活の中で、それを守っていくためには どのように行動すれば良いかを知る。		
使用教材	教材名	コピーライトワールド(自己診断・バーチャルタウン)	
	製作者	社団法人著作権情報センター	
	入手先(URL 等)	http://www.kidscric.com/index.html	

## 展開案

	学習活動	指導 評価
導入	<ul><li>1 著作権について、自分の普段の意識を振り返る。</li><li>2 自己診断テストにより、自分の理解度をつかむ</li></ul>	・卒業文集についてなどの例題を準備し、考え させる。 ・自己診断を個々で行わせ、自己の理解度を認 識させる。
展開	<ul><li>3 自己診断の結果に基づき、「コピーライトってな~に」で学習を進める。</li><li>4 個々の進度によって、「バーチャルタウン」「コピーライト道場」(問題)に取り組ませる。</li></ul>	・新たに分かったことなどをメモさせる。 ・なぜ、知的財産権や著作権が保護されている かにも目を向けさせる。
おわり	5 これからの自分の行動について考えさせ る。	・生活の中で具体的にどのように行動していく か、意欲や目標が持てたか。

## 授業の成果

- ・耳にしたことはあるが、自分の生活との関わりが不明確であった児童たちが、あらゆる作品に著作権 が発生することをしり、身近に感じることができた。
- ・不正に使用してはならないことばかりではなく、認められていることもあるということを知ることが できた。

## 指導のポイント・留意点

・なぜ著作権等で、保護されているかを今後押さえ、モラルについてたかいいしきを育てたい。